

# 糖尿病性腎症重症化予防の基本的な方向性

第18回 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会  
令和元年7月9日（火）

参考資料  
No. 4-1

## 基本的な方向性

- 重症化予防に取り組む市町村及び広域連合の数を増やす。
- 取組内容の中身の充実を図る。
- 自治体の取組を推進するため、
  - ①都道府県の体制整備（プログラム策定等）を推進し、都道府県による支援を進める。
  - ②関係団体による取組・支援を進める。

## 今後の予定

### 1. 重症化予防WGにおける検討の深掘り

- ・取組状況の把握（調査実施等）
- ・取組内容の効果検証（研究班等）
- ・重症化予防の推進支援等の検討

### 2. 重症化予防の取組事例の収集・横展開

- ・好事例の収集、事例の公表等

### 3. 重症化予防事業の更なる推進等

- ・効果的な研修方法の検討（国保中央会実施）
- ・自治体に対するセミナーの実施（国保連合会実施）

### 4. 取組に対する財政支援

#### ○市町村が実施する保健事業に対する助成

- ・国保ヘルスアップ事業、国保保健指導事業

※市町村が実施する特定健診未受診者対策、生活習慣病重症化予防等に係る経費を助成する

※国保被保険者数に応じた助成限度額（平成29年度実施分）：国保ヘルスアップ事業～1,800万円、国保保健指導事業～1,200万円

#### ○都道府県が実施する保健事業等に対する助成・都道府県国保ヘルスアップ支援事業

※都道府県が実施する基盤整備、現状把握・分析等に係る経費を助成する

※国保被保険者数に応じた助成限度額：1,500万～2,500万円

### 5. 保険者努力支援制度による評価

#### ○取組の質の向上に向けて評価指標を見直し

- ・過年度の実施状況等を見つつ、日本健康会議重症化予防WGでの議論も踏まえ、翌年度の評価指標を設定

# 令和元年度における糖尿病性腎症重症化予防事業の更なる推進 (国民健康保険団体連合会等補助金を活用)

## ＜経緯・目的＞

- 人工透析の主な原疾患である糖尿病性腎症の重症化予防は、健康寿命の延伸とともに医療費適正化の観点から重要であり、厚生労働省においては「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定する等により横展開を進めてきた。
- 糖尿病性腎症重症化予防に取り組む自治体数は増加しているものの取組の内容にはばらつきがみられることから、保険者の取組を一層推進するための支援が求められている。
- これを踏まえ、重症化予防の取組の質を確保しつつ、地域の実情に応じた更なる推進を図ることを目的とした事業を行う。

## ＜事業の内容＞

### 国保中央会が実施

#### 国保連合会が市町村及び広域連合を支援するための基盤整備

- ワーキンググループの設置
  - ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム等を基に国保連合会が実務担当者に対して行う研修の指針(内容、方法)を検討
  - ・研修会の効果及び保険者が研修後に行った事業の効果を検証
- 国保データベース(KDB)システムの活用について情報提供

### 国保連合会が実施

#### 市町村及び後期高齢者医療広域連合の実践支援

- 研修会の実施
  - ・国保中央会が示す研修指針を基に、都道府県、市町村、広域連合の実務者に対して研修を実施
- 国保データベース(KDB)システムの操作及び活用支援
- 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業における国保連合会保健事業支援・評価委員会による支援

# 糖尿病性腎症重症化予防の推進に向けた広報事業(平成30年度)

## 目的

- 市町村国保において更なる糖尿病性腎症重症化予防の取組を推進すること
- 被保険者の糖尿病性腎症重症化予防に関する行動変容を促すこと

## 事業の内容

### ① 事業実施の手引きの作成

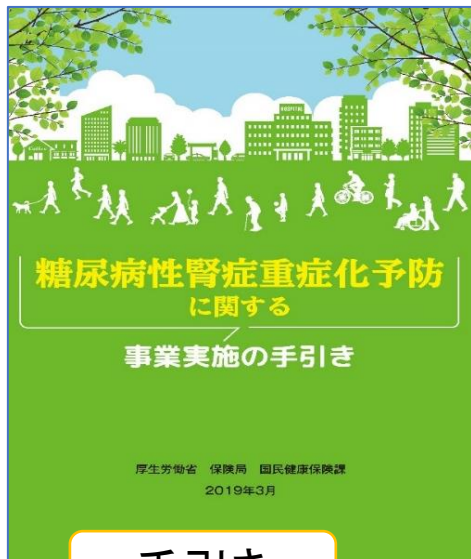
市町村が重症化予防に関する取組を企画・実施・評価するにあたって、実用的な手引き（課題の把握、目的・目標の設定、対象者の抽出・介入・評価等の具体的な実施方法等を含んだもの）を作成し、配布する。

### ② 保険者を対象としたセミナー等の開催

市町村の取組が推進され、さらに取組の内容が充実するよう、全国7カ所で、セミナーを開催する。

### ③ 啓発ツールの作成

重症化予防の取組への参画により健康の保持増進等につながるということ等について、国保被保険者の気づきとなり、行動変容を促すようなポスター及びパンフレット等を作成し、配布する。



手引き



ポスター



パンフレット